

若手農家の農福連携が軌道に！ 事業拡大し、花苗の栽培を開始しました！



豊田市畝部西町の岡田農園（代表：岡田 ^{なおゆき}直是さん（28））の農福連携の取り組みが軌道に乗っています。農福連携開始前と比べ、露地栽培の面積は1.5倍になり、耕作放棄地を活用した施設栽培も開始。この4月からは障がい者就労支援センターとの共同運営で「とよた園芸」を設立し、新たに花苗の栽培を開始しており、2022年3月には豊田市内にとよた園芸直売所を開設する予定です。

岡田農園では露地野菜を栽培・出荷しており、2019年から農福連携を開始。当初はニンジンやホウレンソウの袋詰めなどの出荷作業を中心に障がい者の協力を得ていました。現在では障がい者の作業の幅が広がり、ミニトマトの収穫や、露地野菜の種まきなどの作業にも取り組んでもらっている。対人が苦手な人は室内でミニトマトの袋詰め担うなど、一人ひとりに寄り添った作業分担ができていくことも特徴です。

「とよた園芸」の花苗を栽培では、種まき、ポットへの定植、余分花の摘み落としなど、主要な作業のほとんどを障がい者が担っており、岡田さんの作業は水やりなど限定的となっています。

連携のきっかけは、豊田市で障がい者就労支援センター「ジョルノ」を経営する株式会社ALIVE代表の荒井勇治さん（33）との出会い。「福祉事業における就労支援の新しい時代を作り、後につなげるような仕事を提供したい」と話す荒井さんと、「障がい者の方々の未来の笑顔を、農業を通じて創っていきたい」と考える岡田さんとが意気投合し、この取り組みが始まりました。

若い力で団結し、農業と福祉、地域の様々な問題に取り組む、二人の熱い想いが伺えると思います。ぜひ、一度ご連絡ください。



▲主要な作業の多くは利用者が担い、岡田さん（右）は時々ハウスを見回り、水やりなどを担当する。

お問い合わせ先（岡田様または荒井様に取次ぎをいたします）

JAあいち豊田 総務部 広報課（担当：伴） 住所：豊田市西町4-5

TEL（0565）31-2361（平日9：00～17：00） E-mail：k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp